



国立大学法人

長岡技術科学大学

Nagaoka University of Technology



unesco

Chair

2025

APPLICATION PROCEDURE FOR ADMISSION

to the Master's Program  
at Graduate School of Engineering  
(SDG Professional Course)  
【September Enrollment】

令和 7 (2025) 年度  
大学院工学研究科修士課程  
SDG プロフェッショナルコース学生募集要項  
【9月入学】

Application Deadline : October 31, 2024

出 願 締 切 日 : 令和 6 (2024) 年 10 月 31 日 (木)

※本募集要項に記載されている日付は全て日本時間とします。

※Dates described in this Application Procedure are based on Japan Standard Time.

## 目 次

アドミッションポリシー	1
1 SDG プロフェッショナルコースの目的	1
2 出願の手順	2
3 募集人員及び分野の選定等	3
4 出願資格及び要件	3
5 出願手続	5
6 選考方法	7
7 合格者の発表	7
8 入学手続等に係る諸経費	7
9 個人情報の取り扱い	7
10 安全保障輸出管理	7
11 注意事項	7
12 志望分野・講座名	8
13 出願者の国籍対象国一覧	9
14 渡日前奨学金制度	11
15 日本政府（文部科学省）奨学金留学生として採用された場合の奨学金等	12
16 SDG プロフェッショナルコース奨学金留学生として採用された場合の奨学金等	13

◎本要項に添付されている、出願に必要な本学所定の用紙は、次のとおりです。

- 1 Form A 入学申請書
- 2 Form B 専攻分野及び研究計画
- 3 Form C 健康診断書
- 4 Form D 推薦書
- 5 長岡技術科学大学 SDG プロフェッショナルコース奨学金申請書
- 6 出願書類チェックシート

◎出願書類等の提出先、不明な点の問い合わせ先等は、下記のとおりです。

〒940-2188

新潟県長岡市上富岡町 1603-1

長岡技術科学大学 大学戦略課

国際・高専連携戦略室

Tel: 0258 (47) 9238 Fax: 0258 (47) 9283

E-mail: koryu@jcom.nagaokaut.ac.jp

# 令和7(2025)年度 長岡技術科学大学大学院 工学研究科修士課程 SDG プロフェッショナルコース学生募集要項 【9月入学】

長岡技術科学大学大学院工学研究科は、修士課程（SDG プロフェッショナルコース）において、工学に関する学習・研究を行う外国人留学生を下記により募集します。

記

## 本学における入学者受入方針（アドミッションポリシー）

長岡技術科学大学は、活力（Vitality）、独創力（Originality）及び世のための奉仕（Services）を重んじるVOSの精神をモットーとし、データサイエンス、IoT等の情報技術を活用し、グローバルな技術展開のできる高度な実践的・創造的能力を備えた指導的技術者・研究者の養成を目指しています。この目的を達成するために、本学は、大学院のすべての入学者に対し、学士レベルの学修を継いで指導的技術者・研究者へと至る教育を行っています。

そこで、本学は入学を希望する学生に対し、次のような能力と資質を求めます。

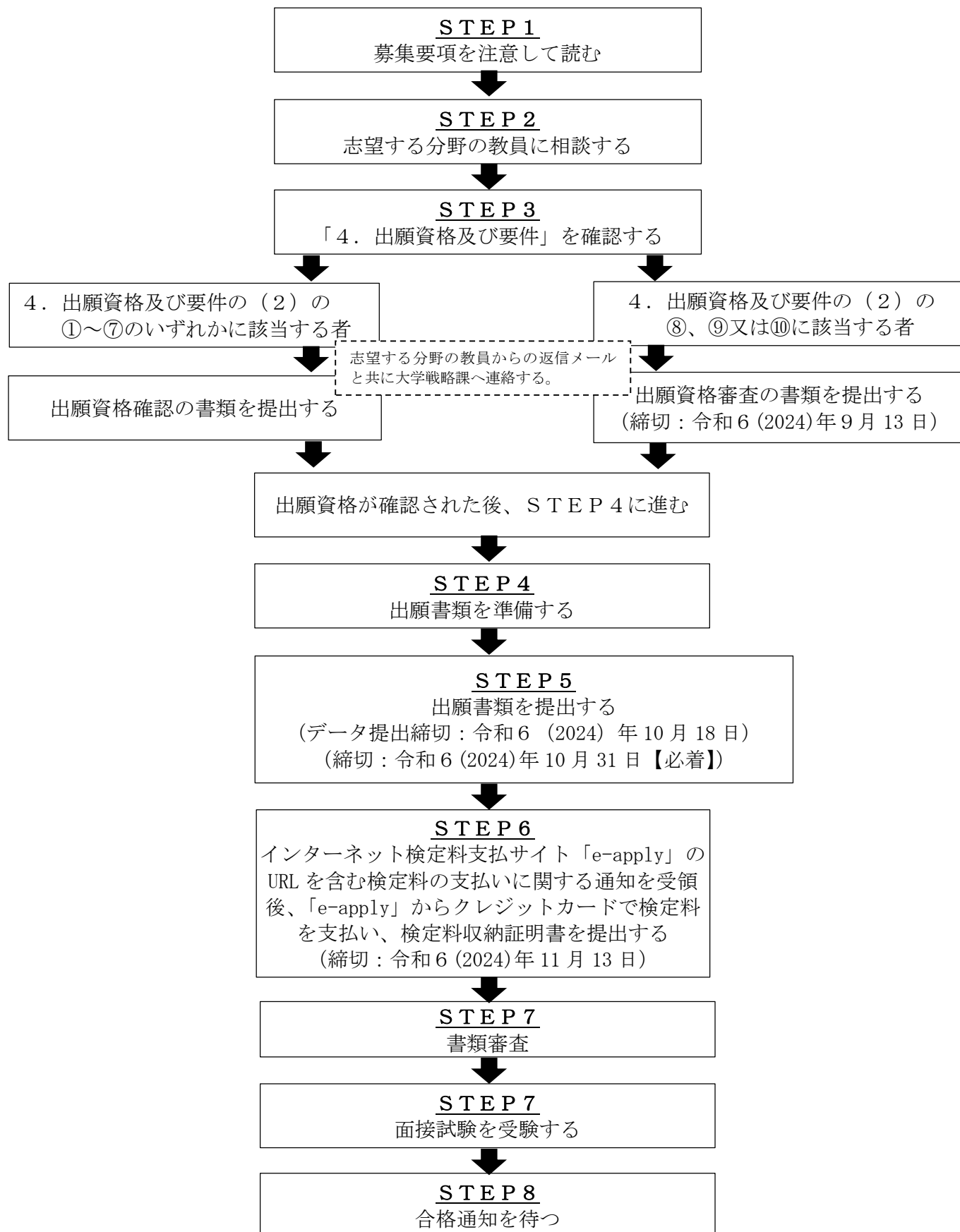
- 1 技術や科学に強い関心をもち、それにかかわる学習に必要な基礎学力をもつ人
- 2 知識をもとに思考を深め、それにより判断したことを適切に表現できる人
- 3 データサイエンス、IoT等の情報技術、及び分野融合技術を研究に活用する意欲のある人
- 4 新しい分野の開拓や理論の創出、ものづくりに意欲をもち、技術や科学を通じて社会に貢献したい人
- 5 自ら積極的に学習や研究に取り組み、問題解決のために多様な人々と協力できる人
- 6 優れた個性を発揮し、人間性が豊かで、責任感のある誠実な人

## 1 SDG プロフェッショナルコースの目的

本コースは、UNESCO との合意に基づく持続可能な開発のための工学教育プログラムです。持続可能な開発目標（SDGs）を基軸とした工学教育を導入し、高度な知識を有する実践的技術者、研究者及び高度な工学教育の担い手を育成することを目的としています。

## 2 出願の手順

出願の手順は以下のとおりです。



### 注意事項

- ✓ 「4 出願資格及び要件」の「(2) 学歴」で出願資格を確認すること。
- ✓ 出願書類提出期限：令和6(2024)年10月31日

### 3 募集人員及び分野の選定等

#### STEP 2

研究科・専攻名	分野名	募集人員
工学研究科・ 工学専攻	機械工学分野	各分野若干人
	電気電子情報工学分野	
	情報・経営システム工学分野	
	物質生物工学分野	
	環境社会基盤工学分野	
	量子・原子力統合工学分野	

入学志願者は、8ページの「12 志望分野・講座名」から志望する1分野を選び、併せて志望する講座と志望指導教員を選んでください。志望する指導教員は、可能であれば記入してください。

入学志願者は、出願する前に、本学で志望する分野の講座の教員と相談してください。

(注) 分野及び講座の選定等にあたっては、別冊の「Outline of Master's Program in the Graduate School of Engineering」及び本学ホームページを参照してください。

ホームページアドレス：<https://www.nagaokaut.ac.jp/e/>

### 4 出願資格及び要件

#### STEP 3

日本の国籍を有しない者で、「出入国管理及び難民認定法」において、大学院入学に支障のない在留資格を有する者又は大学院入学後に当該資格を取得可能な者で、次の(1)および(2)に該当する者としてします。

(1) **国籍等** 次のすべてに該当する者

- ① 9ページ「13 出願者の国籍対象国一覧」に示す国籍を有する者
- ② 令和7(2025)年9月に入学できる者

(2) **学歴** 次のいずれかの資格を有する者

- ① 日本の大学を卒業した者及び令和7(2025)年8月までに卒業見込みの者
- ② 大学改革支援・学位授与機構において、学士の学位を授与された者及び令和7(2025)年8月までに授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7(2025)年8月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7(2025)年8月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和7(2025)年8月までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和7(2025)年8月までに修了見込みの者

- ⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和7（2025）年8月までに修了見込みの者
- ⑧ 大学卒業までに16年を要しない国において大学教育を修了した者であって、次の二つの要件を満たし、かつ、本学大学院が、我が国の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- i) 大学教育修了後、日本国内又は国外の大学若しくは大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等としておおむね1年以上研究に従事した者又は令和7（2025）年8月31日までにおおむね1年以上研究に従事する見込みの者
  - ii) 令和7（2025）年8月31日において、22歳に達している者
- ⑨ 令和7（2025）年8月までに大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位をすぐれた成績をもって修得できる又は修得したと本学大学院が認めた者
- ⑩ 本学大学院が、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者及び令和7（2025）年8月31日までに22歳に達する者

### 出願資格の確認等

上記出願資格①から⑦に該当する者については、出願資格等を確認しますので、必ず出願の前に大学戦略課に照会し、同課の指示する書類を提出してください。

（志望する分野の教員からの返信メールと共に大学戦略課へ連絡してください。）

また、上記出願資格⑧、⑨及び⑩に該当する者については、事前に出願資格審査が必要です。出願前に大学戦略課へ問い合わせの上、出願資格に応じた次の書類を令和6（2024）年9月13日（金）までに提出してください。

出願資格審査は、提出された書類等を基に大学を卒業した者と同等以上の学力を有しているか等、総合的に審査します。審査の結果、出願資格を認定された者のみ出願を受理します。

審査に必要な書類：

⑧に該当の場合

- 1) 出願資格認定審査調書（本学所定の用紙）
- 2) 学習歴等を証明する書類（卒業証明書、成績証明書及び学位証明書）
- 3) 研究歴証明書（本学所定の用紙により、大学等研究機関の長が作成したもの）

⑨に該当の場合

- 1) 出願資格認定審査調書（本学所定の用紙）
- 2) 在学証明書、成績証明書等

⑩に該当の場合

- 1) 出願資格認定審査調書（本学所定の用紙）
- 2) 学習歴等を証明する書類（卒業証明書、成績証明書及び学位証明書）
- 3) 実務経験及び国際的活動経験等を証明する書類（論文、研究報告、学会等での活動歴等）

※ 本学所定の様式は、該当者に別途送付します。

※ なお、学歴・経歴によっては、上記以外の書類の提出を求めることがあります。

※ 提出する書類は、すべて英語又は日本語により作成すること。（その他の言語による場合は、英訳を添付。）

## 5 出願手続

### STEP 4

#### (1) 出願書類等

出願に必要な書類等は次のとおりです。

	出願に必要な書類等	摘 要
1	入学申請書（様式 A）	両面印刷
2	専攻分野及び研究計画（様式 B）	両面印刷
3	健康診断書（様式 C）	出願以前 3 か月以内に受診し、医師が作成したもの
4	推薦書（様式 D）	出身大学の <u>研究科長レベル以上</u> の者が作成し、厳封したもの
5	パスポートの写し又は本国の戸籍謄本、市民権等の証明書の写し	パスポートの写し（表紙及び氏名、国籍、写真、生年月日の記載されたページ）又は身分を証明する書類の写し（氏名、国籍、生年月日が記載されたもの）。 出願書類には、必ずこれらの書類に記載の氏名を用いてください。
6	卒業又は修了（見込）証明書	出身大学が証明したもの ※在学中の場合は、卒業又は修了予定日が記載されたものを提出してください。
7	学位の取得（見込）を証明できる書類	出身学校又は大学改革支援・学位授与機構が証明したもの ※出願資格②～⑥及び⑧の該当者
8	成績証明書	出身大学が証明したもので、厳封のもの ※大学に編入学で入学した者及び専攻科出身者は、大学編入学前の出身学校又は専攻科入学前の成績証明書も提出してください。
9	学位論文概要等（任意）	論文内容を簡潔にまとめたものがあれば、提出してください。
10	業績等報告書（任意）	本人が行った研究活動等の概要〔研究論文、技術報告、特許等の写し等〕があれば、提出してください。
11	英語の能力を証明する書類	本修士課程は英語プログラムです。したがって、以下のいずれか又は両方の書類を提出すること。 ・ TOEFL、TOEIC、IELTS のいずれかの試験結果の証明書（4 技能を計測した試験結果が必要。） ・ 英語プログラムによる課程で最終学位を取得したことを証明する書類
12	長岡技術科学大学 SDG プロフェッショナルコース奨学金申請書（希望する場合）	長岡技術科学大学 SDG プロフェッショナルコース奨学金留学生を希望する場合は、提出してください。
13	出願書類チェックシート	本学所定の様式を使用してください。
14	検定料	<b>30,000 円</b> 検定料の支払いについては、「(4) 検定料の支払方法」を参照してください。
15	検定料収納証明書	検定料収納証明書については、「(4) 検定料の支払方法」を参照し、写し 1 部を提出してください（メール提出も可）。

## (2) 出願書類作成の注意

- ① これらの書類は、すべて英語又は日本語により作成すること。(その他の言語による場合は、英訳を添付。)
- ② 上記書類のうち、1～4、12、13の書類は本学所定の用紙を使用すること。これら以外の書類については、できるだけタイプを用いてA4判サイズに統一して作成すること。上記書類は特に指定のない限り、正本を提出すること。外国の証明書で原本を提出できない場合は、大使館等公的機関で原本証明されたコピーを提出してください。
- ③ 最終学歴が大学院の場合、上記書類のうち、4、6～10の書類は大学院のものも提出すること。
- ④ 上記の申請書がすべて完全かつ正確に記載されていない場合、付属書類が完全にそろっていない場合又は提出期限が過ぎたものについては受理しません。
- ⑤ いかなる場合においても提出書類は返却しません。

## (3) 出願書類の提出期限及び提出先

### STEP 5

データ提出期限 令和6(2024)年10月18日(金)

(注) 郵送での提出の前にデータで一式を提出すること。

提出先 koryu@jcom.nagaokaut.ac.jp

提出期限 令和6(2024)年10月31日(木)《必着》

提出先 〒940-2188 日本国 新潟県長岡市上富岡町1603-1  
長岡技術科学大学 大学戦略課  
国際・高専連携戦略室

(注) 出願書類は、郵便又は国際宅配便のみ受け付ける。

## (4) 検定料の支払方法

### STEP 6

検定料の支払方法は、提出期限までに提出された出願書類の確認後に本学インターネット検定料収納サイト「e-apply」のURL等を案内します。志願者は、e-applyからクレジットカードで支払手続きを行ってください。

また、検定料の支払い完了後にe-applyのサイトから検定料収納証明書をダウンロードし、写しを提出してください。期日までに検定料が振込みされなかった場合は出願を受理しません。

検定料 30,000円

支払期日 令和6(2024)年11月13日(水)23時59分

(注1) 検定料のほかに手数料がかかります。

(注2) インターネットを利用しe-applyからクレジットカードで支払手続きを行えない場合は、令和6(2024)年10月31日(木)までに大学戦略課へ相談してください。

e-apply および操作方法に関する問い合わせ先：

運用会社：株式会社キャリアタス

「学び・教育」出願・申込サービスサポートセンター

E-mail: cvs-web@career-tasu.co.jp

## (5) 振込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

- ① 検定料を重複して払い込んだ場合
- ② 出願後に国費外国人留学生への採用が決定し、本学に入学する場合



### 〔返還請求の方法〕

大学戦略課まで問い合わせのうえ、「検定料還付請求書」（本学所定の書式）を入手してください。

「検定料還付請求書」に必要事項を記入し、「検定料振込済証明書」を添付して、速やかに提出してください。

※ 返還には、本学で「検定料還付請求書」を受理した後、約1か月程度の期間を要します。

## 6 選考方法

### STEP 7

選考は、書類審査及び面接試験（遠隔通信手段によるものを含む）の内容を総合して行います。面接試験の方法、日時及び場所は、後日連絡します。

(1) 書類審査は、5(1)に示した出願書類等で行います。

(2) 現地又は本学において面接試験を行います。

面接試験は、英語で実施し、専門科目（専攻しようとする学問分野）の口述試験を含みます。

## 7 合格者の発表

### STEP 8

合格者には、令和7(2025)年1月24日（金）に通知します。

## 8 入学手続等に係る諸経費

令和7(2025)年度入学者に係る具体的な金額は未定です。

（参考 令和6(2024)年度入学者

入学料 282,000 円、 授業料 535,800 円（年額）

上記の経費の他に、学生教育研究災害傷害保険料等の諸経費として、34,430 円（予定）が必要です。

## 9 個人情報の取り扱い

入学者選抜に関する個人情報は、適切に管理し、下記利用目的以外には使用しません。

①入学者選抜、合格者の発表、入学手続き及びこれらに付随する業務

②修学上必要な本学での業務

③入学者選抜方法及び大学教育研究改善のための調査・統計・分析

※③の調査・統計・分析結果を公表する場合は、個人が特定できないように処理します。

## 10 安全保障輸出管理

本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人長岡技術科学大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生等の受入に際して厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

## 11 注意事項

(1) 入学手続等についての詳細は、合格者に後日通知します。

(2) 本プログラム、「SDG プロフェッショナルコース」は英語で実施する大学院特別コースです。修士課程を修了するためには、本特別プログラム及び各分野の修了要件を満たす必要があります。

(3) 渡日に先立ち、日本の風土、習慣、気候、大学の状況についてあらかじめ調べてください。

(4) その他、本募集に関する問い合わせは、下記へ照会してください。

連絡先 〒940-2188

日本国 新潟県長岡市上富岡町 1603-1

長岡技術科学大学大学戦略課

国際・高専連携戦略室

Fax: +81-258-47-9283 (日本以外から送信する場合)

0258-47-9283 (日本国内から送信する場合)

E-mail: koryu@jcom.nagaokaut.ac.jp

## 12 志望分野・講座名

研究科・ 専攻名	分野名	講座名
工学研究科 ・工学専攻	機械工学分野	機械情報・制御工学
		設計・生産工学
		熱・流体工学
		材料システム工学
		創未来テクノロジー
	電気電子情報工学分野	電気エネルギー・制御工学
		電子デバイス・
		光波制御工学
	情報・経営システム工学分野	情報通信制御工学
		応用情報学
		マネジメントシステム
		データサイエンス
	物質生物工学分野	資源活用工学
		材料創成工学
		生体環境工学
	環境社会基盤工学分野	社会基盤デザイン
		社会基盤マネジメント
		防災システム
		環境マネジメント
	量子・原子力統合工学分野	原子力安全
		原子力技術
		量子・放射線

## 13 出願者の国籍対象国一覧

地域	国名	地域	国名
アジア	バングラデシュ	アフリカ	コートジボワール
	ブータン		コンゴ民主共和国
	カンボジア		ジブチ
	中華人民共和国		エジプト
	インド		エスワティニ
	インドネシア		赤道ギニア
	ラオス		エリトリア
	マレーシア		エチオピア
	モルディブ		ガボン
	モンゴル		ガンビア
	ミャンマー		ガーナ
	ネパール		ギニア
	パキスタン		ギニアビサウ
	フィリピン		ケニア
	スリランカ		レソト
	タイ		リベリア
	東ティモール		リビア
	ベトナム		マダガスカル
中東	アフガニスタン		マラウイ
	イラン		マリ
	イラク		モーリタニア
	ヨルダン		モーリシャス
	レバノン		モロッコ
	シリア		モザンビーク
	トルコ		ナミビア
	イエメン		ニジェール
アフリカ	アルジェリア		ナイジェリア
	アンゴラ		ルワンダ
	ベナン		サントメ・プリンシペ
	ボツワナ		セネガル
	ブルキナファソ		シエラレオネ
	ブルンジ		ソマリア
	カーボベルデ		南アフリカ共和国
	カメルーン		南スーダン
	中央アフリカ共和国		スーダン
	チャド		タンザニア
	コモロ		トーゴ
	コンゴ共和国		チュニジア

地域	国名	地域	国名
アフリカ	ウガンダ	大洋州	ツバル
	ザンビア		バヌアツ
	ジンバブエ	欧州（NIS 諸国を含む）	アルバニア
中南米	ガイアナ共和国		アルメニア
	アルゼンチン		アゼルバイジャン
	ベリーズ		ベラルーシ
	ボリビア		ボスニア・ヘルツェゴビナ
	ブラジル		北マケドニア共和国
	コロンビア		ジョージア
	コスタリカ		カザフスタン
	キューバ		コソボ
	ドミニカ国		キルギス共和国
	ドミニカ共和国		モルドバ
	エクアドル		モンテネグロ
	エルサルバドル		セルビア
	グレナダ		タジキスタン
	グアテマラ		トルクメニスタン
	ハイチ		ウクライナ
	ホンジュラス		ウズベキスタン
	ジャマイカ	出典：経済協力開発機構 (OECD) 開発援助委員会 (DAC) の DAC 援助受取国・地域リスト	
	メキシコ		
	ニカラグア		
	パナマ		
	パラグアイ		
	ペルー		
	セントルシア		
	セントビンセント及びグレナディーン諸島		
	スリナム		
	ベネズエラ		
大洋州	フィジー		
	キリバス		
	マーシャル諸島		
	ミクロネシア		
	ナウル		
	ニウエ		
	パラオ		
	パプアニューギニア		
	サモア		
	ソロモン諸島		
	トンガ		

## 14 奨学金制度

本学には、本コースの合格者の内から以下の条件に該当する者を対象とした奨学金制度があります。

奨学金制度は2種類あります。1つは、日本政府（文部科学省）奨学金です。本コースに日本政府（文部科学省）奨学金留学生の推薦枠が付与された場合は、本コースの合格者の中から、下記、日本政府（文部科学省）奨学金に関する条件に該当する者最大3人を2025年度日本政府（文部科学省）奨学金留学生に推薦しますので、日本政府（文部科学省）奨学金留学生への推薦希望の有無について、入学申請書14-1)に明記してください。この奨学金留学生に採用された場合の奨学金等は、「15 日本政府（文部科学省）奨学金留学生として採用された場合の奨学金等」のとおりです。

もう1つは、長岡技術科学大学 SDG プロフェッショナルコース奨学金です。長岡技術科学大学 SDG プロフェッショナルコース奨学金留学生希望の有無について、入学申請書14-2)に明記してください。この奨学金留学生に採用された場合の奨学金等は、「16 長岡技術科学大学 SDG プロフェッショナルコース奨学金留学生として採用された場合の奨学金等」のとおりです。なお、日本政府（文部科学省）奨学金留学生への推薦を希望する者も長岡技術科学大学 SDG プロフェッショナルコース奨学金留学生を希望することは可能ですが、日本政府（文部科学省）奨学金留学生に採用された場合は、長岡技術科学大学 SDG プロフェッショナルコース奨学金を受給することはできません。

奨学金留学生の候補者には、本コースの合格者の発表と併せて手続きについて通知します（奨学金留学生の採用結果は、令和7(2025)年7月頃通知します。）。

### (1) 奨学金留学生の条件

1) 奨学金留学生の条件を満たす者は、「4 出願資格及び要件」の(1)、(2)に示す要件を満たし、かつ新規に取得した「留学」の在留資格で新たに渡日する者です。さらに、次の全てに該当することが必要です。

① 国費外国人留学生募集対象国・地域の国籍を有する者

② 平成2(1990)年4月2日以降に出生した者

③ 日本語又は英語のいずれかの能力を有する者として、以下のいずれかの条件を満たす者

○日本語

1 正規課程への入学時点で日本語能力試験（JLPT）のレベル N2 以上に合格している者。

2 日本の大学院修士課程への入学資格を満たす教育課程を、日本語を主要言語として修了した者。

○英語

1 正規課程への入学時点で英語におけるヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）の B2 相当以上の資格・検定試験のスコアを有している者。

2 日本の大学院修士課程への入学資格を満たす教育課程を、英語を主要言語として修了した者。

### 2) 注意事項

① 過去に日本政府（文部科学省）奨学金留学生であった者については、令和7(2025)年8月現在で奨学金受給期間終了後3年以上の教育・研究等の経歴がない者は日本政府（文部科学省）奨学金留学生には採用されません。

② 現役軍人又は軍属の資格のまま、奨学金の支給を受けることはできません。

③ 指定の期日までに渡日できない者は、採用が取り消されることもあります。

## 15 日本政府（文部科学省）奨学金留学生として採用された場合の奨学金等

### (1) 奨学金支給期間

令和7(2025)年9月から令和9(2027)年8月までの2年間

### (2) 奨学金額

月額144,000円(予定)。なお、日本政府の予算状況により各年度で金額は変更される場合があります。大学を休学又は長期に欠席した場合、その期間の奨学金は支給されません。

### (3) 旅 費

① 渡日旅費 文部科学省は、原則として旅行日程及び経路を指定して航空券を交付します。航空券は、渡日する留学生の居住地最寄りの国際空港（原則、国籍国内）から受入大学が通常の経路として日本国内で使用する国際空港までの下級航空券とします。なお、渡日する留学生の居住地から最寄りの国際空港までの国内旅費、空港税、空港使用料、渡航に要する特別税、日本国内の旅費（航空機の乗り継ぎ費用を含む。）、旅行保険料、携行品・別送手荷物に関わる経費等は留学生の自己負担とします。また、国籍国に在外公館が所在せず、査証申請のため第三国へ立ち寄り渡日する者又は国籍国からの直行便がない者については、立ち寄り国内の旅費、宿泊費等は自己負担とし、国籍国から立ち寄り国までの航空券並びに立ち寄り国から受入大学が通常の経路として日本国内で使用する国際空港までの下級航空券のみを文部科学省が交付します。なお、査証申請のための第三国立ち寄り等を除き、自己都合により国籍国外から渡日する場合は航空券を交付しません。

② 帰国旅費 文部科学省は、原則として課程を修了し、上記「奨学金支給期間」に定める奨学金支給期間終了月内に帰国する留学生に対し、本人の申請に基づき航空券を交付します。航空券は、受入大学が通常の経路として使用する国際空港から当該留学生が帰着する場所の最寄りの国際空港（原則、国籍国内）までの下級航空券とします。帰国する留学生の日本での居住地から最寄りの国際空港までの旅費、空港税、空港使用料、渡航に要する特別税、国籍国内の旅費（航空機の乗り継ぎ費用を含む。）、旅行保険料、携行品・別送手荷物に関わる経費等は留学生の自己負担とします。なお、自己都合及び下記「奨学金支給停止事項」の事由により奨学金支給期間終了月前に帰国する場合は帰国旅費を支給しません。

また、奨学金支給期間終了後も引き続き日本に滞在する場合（例：日本での進学、就職）、一時帰国する際の帰国旅費は支給しません。

### (4) 授業料等

入学料及び授業料は徴収しません。入学検定料は、日本政府（文部科学省）奨学金留学生として採用された際に返還します。

### (5) 奨学金支給停止事項

次の場合には、文部科学省は奨学金の支給を取り止めます。また、これらに該当した場合、これまで支給した奨学金の一部又は全ての返納を命じることがあります。なお、処分が決定されるまでの間、奨学金の支給を止めることもあります。

- ① 申請書類に虚偽・不正の記載があることが判明したとき。
- ② 文部科学大臣への誓約事項に違反したとき。
- ③ 日本の法令に違反し、無期又は一年を超える懲役若しくは禁固に処せられたとき。
- ④ 大学における学則等に則り、懲戒処分として退学・停学・訓告及びこれらに類する処分を受けた場合あるいは除籍となったとき。
- ⑤ 大学において学業成績不良や停学、休学等により標準修業年限内での修了が不可能であることが確定したとき。
- ⑥ 「留学」の在留資格を新たに取得せずに渡日したとき又は「留学」の在留資格が他の在留資格に変更になったとき。
- ⑦ 他の奨学金（使途が研究費として特定されているものを除く。）の支給を受けたとき。
- ⑧ 採用後、進学に伴う奨学金支給期間延長の承認を受けずに上位の課程に進学したとき。
- ⑨ 当該大学を退学したとき又は他の大学院に転学したとき。
- ⑩ 1年毎の各時点における学業成績係数が2.30又は大学が定める成績基準を下回ったとき。

(注) 日本政府（文部科学省）奨学金留学生の条件は、変更されることがあります。

(参考：[https://www.mext.go.jp/content/20231108-mxt\\_kotokoku02-000032633-02.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20231108-mxt_kotokoku02-000032633-02.pdf))

## 16 長岡技術科学大学 SDG プロフェッショナルコース奨学金留学生として採用された場合の奨学金等

### (1) 奨学金の支給期間

令和 7 (2025) 年 9 月から令和 9 (2027) 年 8 月までの 2 年間

### (2) 奨学金額

月額 80,000 円 (予定) が支給されます。ただし、留学生が大学を休学又は長期に欠席した場合は、原則として奨学金は支給されません。

### (3) 旅 費

旅費の支給はありません。

### (4) 授業料等

「8 入学手続等に係る諸経費」に記載の通り、入学料及び授業料を徴収します。

### (5) 奨学金支給停止事項

次の場合には、奨学金の支給を取り止めます。また、これらに該当するにもかかわらず奨学金を受給した場合、該当する期間に係る奨学金の返納を命じることがあります。

- ① 奨学金受給者の義務を怠ったとき。
- ② 応募書類の記載事項に虚偽があることが判明したとき。
- ③ 日本政府 (文部科学省) 奨学金、外国の政府奨学金、その他、これに類する奨学金の支給を受けたとき。





## Contents

<b>Admission Policy</b>	<b>1</b>
<b>1. SDG Professional Course Objectives</b>	<b>1</b>
<b>2. How to Apply</b>	<b>2</b>
<b>3. Fields of Study and Authorized Student Enrollments</b>	<b>3</b>
<b>4. Qualifications</b>	<b>3</b>
<b>5. Application Procedure</b>	<b>4</b>
<b>6. Selection Procedure</b>	<b>7</b>
<b>7. Announcement of Acceptance</b>	<b>7</b>
<b>8. Expenses for Enrollment</b>	<b>7</b>
<b>9. Privacy Policy</b>	<b>7</b>
<b>10. Security Export Control</b>	<b>7</b>
<b>11. Additional Notes</b>	<b>7</b>
<b>12. Fields of Study and Research Areas</b>	<b>8</b>
<b>13. List of Qualified Countries of Nationality for Application</b>	<b>9</b>
<b>14. Scholarships for Successful Candidates</b>	<b>11</b>
<b>15. Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship</b>	<b>11</b>
<b>16. SDG Professional Course Scholarship at Nagaoka University of Technology</b>	<b>13</b>

◎ The following forms are included in the application packet:

- 1 Form A Application Form for Admission
- 2 Form B Field of Study and Research Plan
- 3 Form C Certificate of Health
- 4 Form D Recommendation Letter
- 5 Application Form for SDG Professional Course Scholarship at Nagaoka University of Technology
- 6 Check Sheet for Application Documents

◎ Please contact the office below in any matter concerning admissions.

Office of International and KOSEN Cooperation Strategies  
Division of Institutional Strategies  
Nagaoka University of Technology  
1603-1 Kamitomioka, Nagaoka, Niigata  
940-2188 JAPAN  
Phone: +81-258-47-9238  
Fax: +81-258-47-9283  
E-mail: [koryu@jcom.nagaokaut.ac.jp](mailto:koryu@jcom.nagaokaut.ac.jp)

**2025**  
**APPLICATION PROCEDURE FOR ADMISSION**  
**to the Master's Program**  
**at Graduate School of Engineering**  
**Nagaoka University of Technology**  
**(SDG Professional Course)**  
**【September Enrollment】**

The graduate school of engineering at Nagaoka University of Technology offers the Master's program (named as SDG Professional Course). The following describes the application procedure for this program.

**Admission Policy**

Nagaoka University of Technology aims to nurture the development of leading engineers and researchers with the practical and creative abilities to bring about global technological development using information technology -such as data science and the Internet of Things (IoT)- in accordance with the “VOS” spirit (referring to Vitality, Originality, and Services to society). To attain this goal, the education provided at our university to all graduate students is designed to seamlessly continue from the bachelor degree level in order to train leading engineers and researchers.

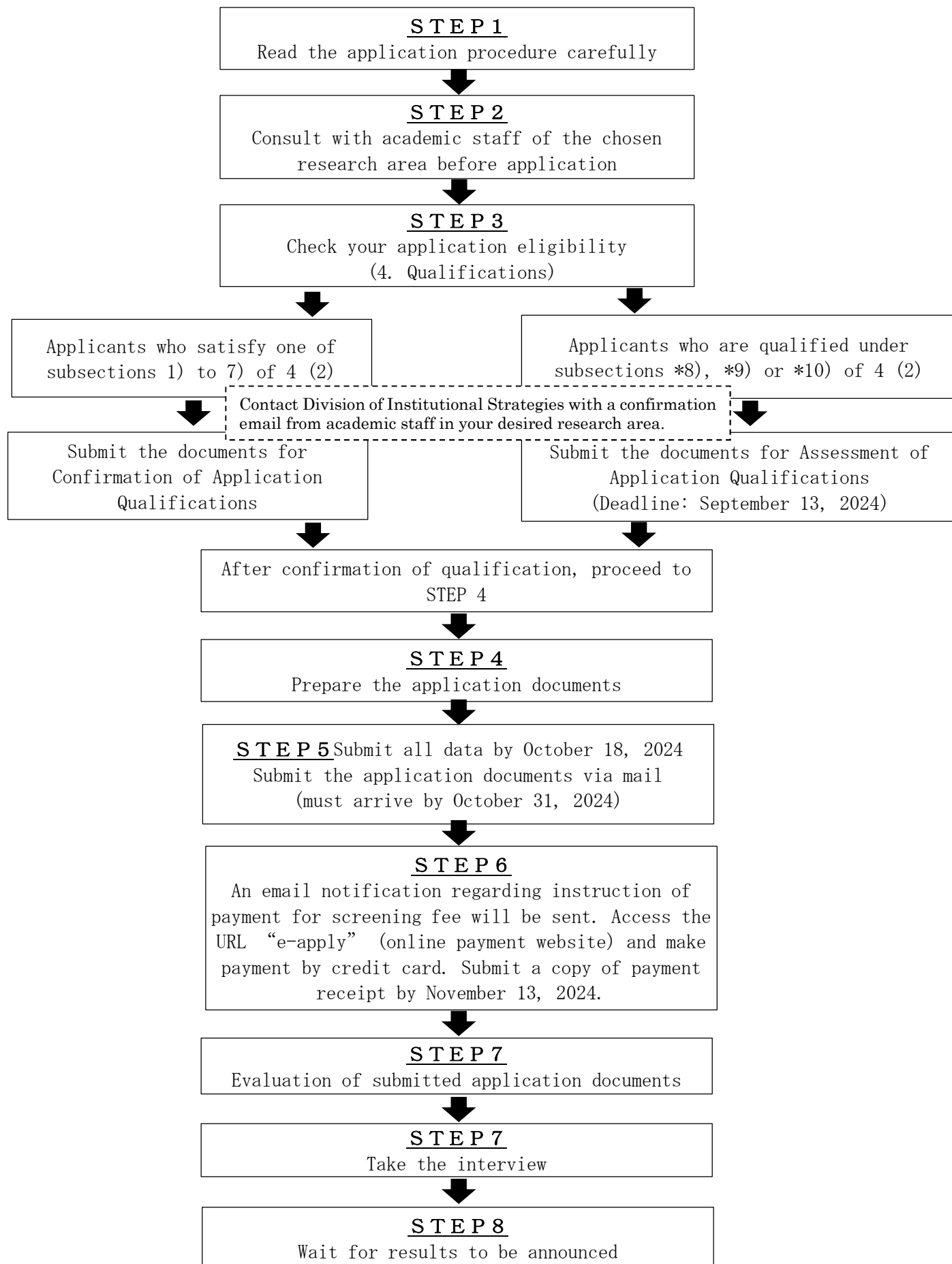
We invite students with the following characteristics to apply:

1. Students who have a strong interest in science and technology, and have the necessary fundamental academic ability
2. Students who can broaden their thinking based on knowledge, and are able to appropriately express their conclusions
3. Students who are eager to utilize information technology, including data science and the Internet of Things (IoT), as well as interdisciplinary technology, in research
4. Students who desire to pioneer new fields and create new theories, have an interest in manufacturing and craftsmanship, and wish to make social contributions through science and technology
5. Students who are able to proactively engage in study and research, and are able to collaborate with a wide variety of people to solve problems
6. Students who possess rich individuality, abundant human qualities, and a strong sense of responsibility and sincerity

**1. SDG Professional Course Objectives**

Nagaoka University of Technology offers this course as an engineering education program for sustainable development based on the agreement with UNESCO. This graduate-level course incorporates engineering education built on a foundation of Sustainable Development Goals (SDGs), and is designed to produce practical engineers/researchers with high levels of expertise and educators of advanced engineering.

## 2. How to Apply



### Notes:

- ✓ Check your qualifications for application: 4 Qualifications (2) Academic Background.
- ✓ Application documents must arrive by October 31, 2024.

### 3. Fields of Study and Authorized Student Enrollments

#### STEP 2

A small number of students will be accepted in each field stated below:

1. Mechanical Engineering
2. Electrical, Electronics and Information Engineering
3. Information and Management Systems Engineering
4. Materials Science and Bioengineering
5. Civil and Environmental Engineering
6. Nuclear Technology

Applicant must choose one of the research areas referring to "12. Fields of Study and Research Areas" on page 8.

Applicant may also choose professor(s) or associate professor(s), if there are any preferred ones.

Please consult with academic advisor(s) of the chosen research area(s) BEFORE application.

(NOTE) When choosing one of the research areas, please refer to the appendix "Outline of Master's Program in the Graduate School of Engineering" and the university's website below;

<https://www.nagaokaut.ac.jp/e/>

### 4. Qualifications

#### STEP 3

First of all, applicants must be those who are applicable to either A or B below.

- (A) Non-Japanese who hold a resident visa status permitting enrollment to the Graduate School under the Immigration Control and Refugee Recognition Act
- (B) Non-Japanese who are expected to obtain the above status after enrollment in the Graduate School under the Immigration Control and Refugee Recognition Act

Applicants must also satisfy both (1) and (2) as follows.

**(1) Nationality:** Applicants must satisfy all of the following conditions:

- 1) Have nationality of nations listed in section 13, page 9.
- 2) Be able to enroll in September 2025.

**(2) Academic Background:** Applicants must satisfy one of the following requirements:

- 1) Be a university graduate, or be expected to graduate by the end of August 2025, in Japan.
- 2) Have successfully obtained a bachelor's degree at the National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education (NIAD-QE), or be expected to do so by the end of August 2025, in Japan.
- 3) Have successfully completed a 16-year course of school education abroad, or be expected to do so by the end of August 2025.
- 4) Have completed, in Japan, the correspondence course of an overseas educational institution and completed a 16-year course of school education, or be expected to do so by the end of August 2025.
- 5) Have successfully completed a course at an overseas educational institution in Japan which requires graduates to have completed a 16-year course in the school education system, which is deemed to have university courses in that system, and which is specifically recognized by the Japanese Minister of Education, Culture, Sports, Science, and Technology, or be expected to do so by the end of August 2025.
- 6) Those who have a degree equivalent to a Bachelor's degree or expect to obtain such a degree by the end of August 2025, from a university or school in a country other than Japan by completing a course of study for at least 3 years by a correspondence course, provided by a school of that country, in Japan, or from an educational institution recognized as being part of the educational system of the country and that is specifically designated by the Minister of Education, Sports, Science and Technology. The university or school must be evaluated on the comprehensive quality of the education and research activities by the authorized persons of the government or relative institution of the country or must be restricted to an institution specifically designated by the Minister of Education, Sports, Science and Technology.
- 7) Have completed a specialized course of training recognized by the Japanese Minister of Education, Culture, Sports, Science, and Technology at a Senshu School (Specialized School), or be expected to do so by the end of August 2025.

\*8) In the case of an applicant from a foreign country where the completion of college level education does not require 16 years of school education, satisfy the following 2 conditions and be deemed by the graduate school of engineering at Nagaoka University of Technology to have academic ability equal to or higher than a graduate of a Japanese university.

- i) Have spent one year or more as a research student or research fellow at a university or research institute in Japan or abroad after successfully obtaining a bachelor's degree, or be expected to do so by August 31, 2025.
- ii) Be 22 years old or older as of August 31, 2025.

\*9) Have studied at a university three years or more or be expected to do so, or have completed 15 years of school education abroad or be expected to do so, by the end of August 2025. Be deemed by the graduate school of engineering at Nagaoka University of Technology to get or have gotten an excellent record.

\*10) Be deemed by the graduate school of engineering at Nagaoka University of Technology to have academic ability equal to or higher than a graduate of a Japanese university, based on the submitted documents and be 22 years old or older as of August 31, 2025.

### \* Confirmation of Application Qualifications

**Applicants under subsections 1) to 7) are required to confirm their qualifications.**

Before submission of the application documents, be sure to contact Division of Institutional Strategies. The office will provide documents for the application qualification. Filled documents should be submitted to the office.

(Contact Division of Institutional Strategies with a confirmation email from academic staff in your desired research area.)

### \* Assessment of Application Qualifications

**The University will assess the qualifications of applicants under subsections \*8), \*9) or \*10) based on the submitted documents. Applicants should contact Division of Institutional Strategies before submitting the application documents. The following documents for assessment should be submitted to the office by September 13, 2024.**

**Only applicants whose qualifications meet the university requirements may submit application documents.**

#### • Documents to be submitted

- \*8) : 1. Summary of Academic and Professional Activities (provided form)  
2. Documents certifying academic career (diploma, final transcript, etc.)  
3. Certificate of Research Activities (provided form, completed by the head of each academic institution)
- \*9) : 1. Summary of Academic and Professional Activities (provided form)  
2. Certificate of School Registration, academic record, etc.
- \*10) : 1. Summary of Academic and Professional Activities (provided form)  
2. Documents certifying academic career (diploma, final transcript, etc.)  
3. Documents certifying work experience, overseas experience, or other academic activity (academic papers, research reports, records of research or other academic activity, etc.)

**Above mentioned forms will be sent to the applicants concerned respectively.**

**The office may request submission of additional documents according to academic background and career.**

**All of these documents should be filled out in English or Japanese, using a computer or a black ballpoint pen (block letters). If any certificates are written in another language, please attach a translation in English.**

## 5. Application Procedure

### STEP 4

(1) Applicants must submit the following documents;

Documents		Notes
1	Application Form for Admission (Form A)	Double-sided Printing
2	Field of Study and Research Plan (Form B)	Double-sided Printing

3	Certificate of Health (Form C)	This form should be completed and signed by the examining physician. The applicant should have been examined within 3 months before the application.
4	Recommendation Letter (Form D)	This form should be obtained from <b><u>the head of department or above</u></b> in the applicant's former university. It must be placed in a SEALED envelope.
5	Copy of Passport OR Copy of Certificate of Citizenship of the Applicant's Country of Residence	Copy of passport (cover and pages including name, nationality, photograph and date of birth) OR Copy of certificate of citizenship of the applicant's country of residence (including name, nationality, photograph and date of birth) * The name on all application documents should be the name as that appeared on the above certificate or copy.
6	Certificate of Graduation, or document that confirms the expected date of graduation	Certificates or similar documents should be authorized by the institution.
7	Certificate of Bachelor's Degree, or document that confirms the expected date of receiving the degree	Certificates or similar documents should be authorized by the institution or National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education (NIAD-QE). * For applicants under subsections (2), (3), (4), (5), (6) and (8) of qualifications for application.
8	Academic Record (transcript) of Undergraduate Program	Transcripts should be authorized by the institution. * If the applicant was transferred to the current university from other schools, academic records from the previous school should also be submitted.
9	Brief summary of Bachelor's thesis (optional)	A brief summary of Bachelor's thesis will be accepted.
10	Report on research and professional achievements (optional)	Photocopies of the following optional certificates and documents will be accepted. - a summary of achievements of research and professional works (research and development activities, educational activities or other types of work as an engineering professional) conducted by the applicant - selected research papers - technical reports - patents certificates - other supplemental documents
11	English proficiency certification	This program is conducted in English. Applicants are thus required to submit either or both of the following documents. - an official test score report of either TOEFL, TOEIC or IELTS (Test results measuring four skills are required.)- the evidence that the applicant's final degree was earned at a university where all instruction was in English
12	Application Form for SDG Professional Course Scholarship at Nagaoka University of Technology (if applicable)	If you hope to be admitted as an SDG Professional Course Scholarship Student at Nagaoka University of Technology, this document should be submitted.
13	Check Sheet for Application Documents	Provided Form
14	Screening fee	<b>30,000 JPY</b> Please refer to “(4) Payment of the screening fee”.
15	Payment receipt	Please refer to “(4) Payment of the screening fee”. The copy should be submitted. (Submission by e-mail is acceptable.)

## (2) Additional Notes

- 1) All of these documents should be filled out in English or Japanese, using a computer or a black ballpoint pen (block letters). If any certificates are written in another language, please attach a translation in English.
- 2) For (1) 1 – 4, 12 and 13 listed above, please only use the provided forms. The remaining documents should be submitted in A4 sized paper (210 mm×297 mm). **All of the documents mentioned in section 5 (1) must be original unless otherwise stated. If you cannot submit an original certificate, please submit a copy of the document that has been certified by an embassy or other public institution.**
- 3) For (1) 4 and 6 – 10 listed above, if the terminal education record is a graduate program, graduate program documents should be included along with the undergraduate documents also.
- 4) The application will not be accepted if any of the above documents are uncompleted, insufficient or received after the deadline.
- 5) The application documents will not be returned to the applicant in any circumstances.

## (3) Deadline and Mailing address

### STEP 5

#### **Data Submission Deadline: October 18, 2024**

(Note: Please submit a complete set of application and documentation data before submitting by mail.)

Submit to [koryu@jcom.nagaokaut.ac.jp](mailto:koryu@jcom.nagaokaut.ac.jp)

#### **Deadline (The documents must arrive by): October 31, 2024**

Mailing address for application: Office of International and KOSEN Cooperation Strategies,  
Division of Institutional Strategies,  
Nagaoka University of Technology,  
1603-1 Kamitomioka, Nagaoka, Niigata 940-2188 Japan

Note: The application form and required documents should be submitted by postal or international courier services.

## (4) Payment of the screening fee

### STEP 6

The applicant is asked to make a payment of screening fee by a credit card through “e-apply” which is a website for screening fee payments. Method of payment including URL of e-apply will be informed to each applicant upon confirmation of application documents (1 to 14 indicated in Section 5 (1)) received by the deadline indicated in Section 5 (3). The applicant is also required to submit the payment receipt downloaded from e-apply website after the payment. If the applicant fails to make a payment by the designated deadline, the application will not be accepted or proceeded.

**Screening Fee: 30,000 JPY**

**Payment Deadline: 23:59 (JST) on November 13, 2024**

(Note 1) Handling fee will be charged for the credit card payment.

(Note 2) If the applicant does not have internet access or a credit card to make an online payment, please contact Division of Institutional Strategies by October 31, 2024.

Inquiry about e-apply and operation method:

Operating Company: Career-tasu, Inc.

Learning and Education Application Service Support Center

E-mail: [cvs-web@career-tasu.co.jp](mailto:cvs-web@career-tasu.co.jp)

(5) The screening fee is not refundable EXCEPT in the following cases:

- 1) The applicant has already paid the screening fee.
- 2) The applicant enters our university as a Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship Student.

#### **Refund Procedure**

To request a refund, please contact Division of Institutional Strategies to obtain a screening fee refund form. The applicant should fill out the form and submit it with the bank transfer receipt to the division as soon as possible.

**NOTE: This procedure takes about one month after the form is submitted.**

## 6. Selection Procedure

### STEP 7

The selection procedure consists of an evaluation of the application documents and an interview (may be conducted online). Further details will be announced later.

- (1) Evaluation of the application documents will be done based on the application documents indicated in "5. Application Procedure".
- (2) The interview will be held either in the applicant's country or in Nagaoka University of Technology. The interview will be conducted in English and will include an oral examination of the applicant's major field.

## 7. Announcement of Acceptance

### STEP 8

Nagaoka University of Technology will send an acceptance letter to successful candidates on January 24, 2025.

## 8. Expenses for Enrollment

Payment of fees:

The admission and tuition fees for 2025 have not been finalized yet. (As reference, Admission and tuition fees for 2022 were 282,000 JPY and 535,800 JPY, respectively.)

Additional expenses such as Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research, etc. are required as well. (As reference, the amount of expenses in total was 34,430JPY in 2024)

## 9. Privacy Policy

Personal information related to admission will be managed appropriately, and will not be used except for the following purposes:

- (1) Procedures for student admission and its announcement, admission process and matters related thereto.
- (2) Matters required for academic procedures.
- (3) Surveys, statistics and analyses for the improvement of the method of selecting entrants, education and research.  
\* When publishing the results of the surveys, statistics and analyses mentioned in (3), the information will be processed so that individuals cannot be identified.

## 10. Security Export Control

Nagaoka University of Technology has established "National University Corporation Nagaoka University of Technology Security Export Control Regulation" in accordance with "Foreign Exchange and Foreign Trade Act", and conducts strict examinations for acceptance of international students, etc. Applicants from overseas who fall under any of the conditions set out in said regulations may be unable to enter their desired course or program.

## 11. Additional Notes

- (1) Details of enrollment procedures will be informed to successful candidates later on.
- (2) The SDG Professional Course is a special graduate program conducted in English. In order to complete the master's program, students should satisfy all requirements for both SDG Professional Course and the major course.
- (3) Students are advised to learn about the Japanese customs, lifestyle, climate, and university system before coming to Japan.
- (4) For further information, please contact:  
Office of International and KOSEN Cooperation Strategies,  
Division of Institutional Strategies,  
Nagaoka University of Technology,  
1603-1 Kamitomioka,  
Nagaoka, Niigata 940-2188 Japan  
Fax: +81-258-47-9283 (overseas)  
Fax: 0258-47-9283 (within Japan)  
E-mail: koryu@jcom.nagaokaut.ac.jp



## 12. Fields of Study and Research Areas

	Fields of Study	Research Areas
Graduate School of Engineering	Mechanical Engineering	Information and Control Engineering
		Design and Production Engineering
		Heat and Fluids Engineering
		Materials Science and Engineering
		Innovative Interdisciplinary Mechanical Engineering
	Electrical, Electronics and Information Engineering	Electric Energy and Control Engineering
		Electronic Devices and Light Wave Control Engineering
		Information, Telecommunication and Control
	Information and Management Systems Engineering	Applied Informatics
		Management System
		Data Science
	Materials Science and Bioengineering	Resource Utilization Engineering
		Materials Creation Engineering
		Biological and Environmental Engineering
	Civil and Environmental Engineering	Infrastructure Design
		Infrastructure Management
		Disaster Prevention Systems
		Environment Management
	Nuclear Technology	Nuclear Safety Engineering
		Nuclear System Engineering
		Advanced Radiation Engineering

### 13. List of Qualified Countries of Nationality for Application

Areas	Countries	Areas	Countries
<b>Asia</b>	Bangladesh	<b>Africa</b>	Democratic Republic of the Congo
	Bhutan		Djibouti
	Cambodia		Egypt
	China		Eswatini
	India		Equatorial Guinea
	Indonesia		Eritrea
	LaoPeople's Democratic Republic		Ethiopia
	Malaysia		Gabon
	Maldives		Gambia
	Mongolia		Ghana
	Myanmar		Guinea
	Nepal		Guinea-Bissau
	Pakistan		Kenya
	Philippines		Lesotho
	Sri Lanka		Liberia
	Thailand		Libya
	Timor-Leste		Madagascar
	Vietnam		Malawi
<b>Middle East</b>	Afghanistan		Mali
	Iran		Mauritania
	Iraq		Mauritius
	Jordan		Morocco
	Lebanon		Mozambique
	Syrian Arab Republic		Namibia
	Turkey		Niger
	Yemen		Nigeria
<b>Africa</b>	Algeria		Rwanda
	Angola		Sao Tome and Principe
	Benin		Senegal
	Botswana		Sierra Leone
	Burkina Faso		Somalia
	Burundi		South Africa
	Cabo Verde		South Sudan
	Cameroon		Sudan
	Central African Republic		Tanzania
	Chad		Togo
	Comoros		Tunisia
	Congo		Uganda
	Cote d'Ivoire		Zambia

Areas	Countries	Areas	Countries
<b>Africa</b>	Zimbabwe	<b>Europe</b>	Vanuatu
<b>Central and South America</b>	Guyana	<b>(including New Independent States)</b>	Albania
	Argentina		Armenia
	Belize		Azerbaijan
	Bolivia		Belarus
	Brazil		Bosnia and Herzegovina
	Colombia		North Macedonia
	Costa Rica		Georgia
	Cuba		Kazakhstan
	Dominica		Kosovo
	Dominican Republic		Kyrgyzstan
	Ecuador		Moldova
	El Salvador		Montenegro
	Grenada		Serbia
	Guatemala		Tajikistan
	Haiti		Turkmenistan
	Honduras		Ukraine
	Jamaica		Uzbekistan
	Mexico	Reference: List of ODA Recipients, Development Assistance Committee (DAC), Organization for Economic Co-operation and Development (OECD)	
	Nicaragua		
	Panama		
	Paraguay		
	Peru		
	St. Lucia		
	St. Vincent and the Grenadines		
	Suriname		
	Venezuela		
	<b>Oceania</b>		
	Fiji		
	Kiribati		
	Marshall Islands		
	Federated States of Micronesia		
	Nauru		
	Niue		
	Palau		
	Papua New Guinea		
	Samoa		
	Solomon Islands		
	Tonga		
	Tuvalu		

## 14. Scholarships for Successful Candidates

Nagaoka University of Technology will provide scholarships for successful candidates who meet the conditions mentioned in this section.

There are two types of scholarships. One is Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship. If nomination quotas are authorized to this course, our university will nominate up to three successful candidates who meet the qualifications of Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship mentioned below. Those who wish to apply for Japanese Government Scholarship 2025 should indicate it in sections 14-1 on Form A. For further information, please refer to section “15. Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship”.

The other is SDG Professional Course Scholarship at Nagaoka University of Technology. Those who wish to apply for this scholarship should indicate it in section 14-2 on Form A and please refer to section “16. SDG Professional Course Scholarship at Nagaoka University of Technology” for details. Those who apply for Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship can also apply for this scholarship. However, he/she will be exempted from SDG Professional Course Scholarship if he/she is accepted as a Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship student.

Nominees for the scholarships will be notified along with the result of an entrance exam for this course. The final result of scholarships will be announced in July 2025.

### (1) Qualifications for Scholarships

1) Those who wish to apply for scholarships must satisfy both (1) and (2) written in section 4. Qualifications, and in principle, enter Japan with newly obtained Student Visas. In addition, must satisfy following i), ii) and iii) requirements as well:

i) Have the nationality of a country to which the Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship program is offered.

ii) Be born on or after April 2, 1990

iii) Meet one or more of the following language requirements in Japanese or English:

○ Japanese

1 JLPT (Japanese Language Proficiency Test) N2 or higher at the time of entrance to NUT.

2 Completed a curriculum conducted in Japanese as a main language, which meets entrance qualifications for a master's program of Japanese university.

○ English

1 B2 or higher at CEFR (Common European Framework of Reference for Languages) criteria at the time of entrance to NUT.

2 Completed a curriculum conducted in English as a main language, which meets the entrance qualifications for a master's program of Japanese university.

### 2) Notes

i) Those who received Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship in the past are not accepted to receive the same scholarship unless he/she has at least three years of research or teaching experience after the last scholarship was received as of August 2025.

ii) Those who are in military service are not eligible.

iii) The scholarship may be cancelled if a grantee fails to arrive in Japan by the appointed date.

## 15. Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship

### (1) Period of Scholarship

From September 2025 to August 2027 (2 years)

### (2) The Amount of the Scholarship

144,000 JPY per month (subject to change). Due to the situation of the Japanese Government's budget, the amount of payment may be subject to change. If a grantee is absent from the university for an extended period, the scholarship shall be suspended for that period.

### (3) Traveling Expenses

1) Transportation to Japan: MEXT will stipulate the travel schedule and route, and provides an airline ticket. The airline ticket will be an economy-class ticket for the flight from the international airport closest to the grantee's residence (in principle, the country of nationality) to an international airport in Japan used on the normal route to the accepting university. The grantee shall bear at his/her own expense all costs related to domestic travel from

the grantee's residence to the nearest international airport, airport taxes, airport usage fees, special taxes necessary for travel, travel expenses within Japan (including airline transit costs), travel insurance expenses, carry-on luggage or unaccompanied baggage expenses, etc. The grantee shall also bear at his/her own expense travel and lodging costs incurred in a third country if the grantee must travel to a third country before coming to Japan for visa purposes because there are no Japanese diplomatic missions in his/her country, or if there are no direct flights from the grantee's country of residence to Japan. MEXT will provide an economy-class airline ticket from the grantee's country of residence to the said third country, and from the third country to an international airport in Japan used on the normal route to the accepting university. Except for cases when the grantee must travel to a third country to obtain a visa, MEXT will not provide an airline ticket for cases of travel to Japan from a country other than the grantee's country of residence due to the grantee's personal circumstances.

- 2) Transportation from Japan: Based on the application by the grantee, MEXT will provide an airline ticket to grantees who shall complete a course and return to the home country by the end of the final month of the period of scholarship (See "Period of Scholarship") designated by MEXT. MEXT shall provide an economy-class airline ticket from the international airport in Japan used for the normal route to and from the accepting university to the international airport (in principle, in the country of nationality) nearest to the returning grantee's residence. The grantee shall bear at his/her own expense all costs related to travel from the grantee's residence in Japan to the nearest international airport, airport taxes, airport usage fees, special taxes necessary for travel, travel expenses within the country of nationality (including airline transit costs), travel insurance expenses, carry-on luggage or unaccompanied baggage expenses, etc. If a grantee returns to the home country before the end of period of scholarship due to personal circumstances, or reasons stated in "Suspension of Payment of Scholarship", MEXT will not pay for the returning travel expenses.

If a grantee continues to stay in Japan after the scholarship period has ended (ex. proceeding to further education or being employed in Japan, continuing to register at the university), travel expenses for a temporary return will also not be paid.

#### **(4) Tuition and Other Fees**

Grantees are not required to pay for admission and tuition fees. The screening fee will be refunded to those who are accepted as a Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship student.

#### **(5) Suspension of Payment of Scholarship**

Payment of the scholarship will be cancelled for the reasons given below. Should any of the following reasons apply, the grantee may be ordered to return a part of, or all of, the scholarship paid up to that time. Payment of the scholarship may also be stopped during the period up to the decision on the disposition of the matter.

- 1) A grantee is determined to have made a false statement on his/her application;
- 2) A grantee violates any article of his/her pledge to the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology;
- 3) A grantee violates any Japanese laws and is sentenced and imprisoned for an indefinite period or for a period exceeding 1 year;
- 4) A grantee is suspended from his/her university, or receives other punishment, or is removed from enrollment; as a disciplinary action in accordance with school regulations of the accepting institution;
- 5) It has been determined that it will be impossible for a grantee to complete the course within the standard period of study because of poor academic grades or suspension or absence from the university;
- 6) A grantee came to Japan without newly acquiring the "Student" residence status, or changed his/her residence status to one other than "Student";
- 7) A grantee has received another scholarship (excluding those specified for research expenditures);
- 8) A grantee proceeds to a more advanced level of education without receiving approval for an extension of the period of the scholarship;
- 9) A grantee has withdrawn from the university or transferred to another graduate school;
- 10) Annual academic grade has been lower than 2.30 in a designated scale or academic grade has fallen below than recognized score by NUT.

ATTENTION: Terms and conditions of Japanese Government Scholarship are subject to change.  
(Reference:[https://www.mext.go.jp/content/20231108-mxt\\_kotokoku02-000032633-02.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20231108-mxt_kotokoku02-000032633-02.pdf))

## **16. SDG Professional Course Scholarship at Nagaoka University of Technology**

### **(1) Period of Scholarship**

From September 2025 to August 2027(2 years)

### **(2) The Amount of the Scholarship**

80,000 JPY per month (subject to change). Please note that the scholarship will be suspended in the event that a grantee takes a leave of absence from the university or fails to attend for a considerable period.

### **(3) Traveling Expenses**

Not provided.

### **(4) Tuition and Other Fees**

Grantees are required to pay for admission and tuition fees as indicated in section 8.

### **(5) Suspension of Payment of Scholarship**

Scholarship may be cancelled, and the grantee may require to return the amount of scholarship that he/she received during the period where he/she was involved in the following situation(s):

- 1) A grantee fails to meet the obligations as recipients;
- 2) A grantee has made a false statement on his/her application;
- 3) A grantee has received Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship, scholarship provided by foreign government or any other scholarships.

## 令和 7 (2025) 年度長岡技術科学大学大学院工学研究科修士課程

## SDG プロフェッショナルコース入学申請書

**2025 APPLICATION FOR ADMISSION TO THE MASTER'S PROGRAM AT GRADUATE SCHOOL  
OF ENGINEERING, NAGAOKA UNIVERSITY OF TECHNOLOGY  
(SDG PROFESSIONAL COURSE)**

## INSTRUCTIONS (記入上の注意)

1. Type application, if possible, or write neatly by hand in block letters. (タイプまたは手書きでブロック体で明瞭に記入すること。)
  2. Use Arabic numerals. (数字は算用数字を用いること。)
  3. Write years in western calendar. (年号はすべて西暦とすること。)
  4. Write proper nouns in full without abbreviation. (固有名詞はすべて正式な名称とし、一切省略しないこと。)
  5. This form must be printed double-sided. (両面印刷すること。)
- \* Personal data entered in this application will only be used for selection purposes, and contact information such as email addresses will only be used to create academic networks after the applicant is enrolled and by Nagaoka University of Technology to send out information when needed. (本申請書に記載された個人情報については、本プログラムの選考のために使用するほかは、特に Email アドレス等の連絡先については、入学後における関係者のネットワークを作ること及び必要に応じ長岡技術科学大学より各種情報を送信する以外には使用しない。)

## 1) Name in Alphabet (氏名 (アルファベット))

Surname (姓)	Given name (名)	Middle name (ミドルネーム)
-------------	----------------	----------------------

\* Write your name exactly as it appears in your passport. (綴りはパスポートの表記と同一にすること)

## 2-1) Nationality (国籍)

## 2-2) Japanese Nationality (日本国籍)

☐ YES (有)      ☐ NO (無)

## 3) Gender (性別)

☐ Male (男)      ☐ Female (女)

## 4) Marital Status (婚姻状況)

☐ Single (独身)      ☐ Married (既婚)

## 5) Date of Birth and Age as of September 1, 2025 (生年月日及び 2025 年 9 月 1 日現在の年齢)

yyyy (年)	mm (月)	dd (日)	Age (年齢) (as of September 1, 2025) (2025 年 9 月 1 日現在)
----------	--------	--------	---

写真(4.5cm×3.5cm)  
Photo

Paste your photo or  
digital image taken  
within 6 months.  
Write your name and  
nationality on the back  
of the photo.  
6 ヶ月以内に撮影した写真  
またはデジタル画像を貼る  
こと。写真の裏面に名前と  
国籍を書くこと。

6) Current address, Phone number and Email address (現住所、電話番号及び Email アドレス)

Current address (現住所) :

---

Phone number (電話番号) :

---

Email address (Email アドレス) :

---

\* You are suggested to write an email address that can be used continuously before, during and after your stay in Japan.

(可能な限り、渡日前～日本留学中～帰国後にわたり使い続けることが予想される Email アドレスを記入すること。)

7) Preferred Field of Study (Check one) (志望分野)

- ☐ Mechanical Engineering (機械工学分野)
- ☐ Electrical, Electronics and Information Engineering (電気電子情報工学分野)
- ☐ Information and Management Systems Engineering (情報・経営システム工学分野)
- ☐ Materials Science and Bioengineering (物質生物工学分野)
- ☐ Civil and Environmental Engineering (環境社会基盤工学分野)
- ☐ Nuclear Technology (量子・原子力統合工学分野)

8-1) Preferred Research Areas (志望する講座名)

Please refer to Appendix “Outline of Master’s Program in the Graduate School of Engineering”. (別冊の「Outline of Master's Program in the Graduate School of Engineering」を参照してください。)

---

8-2) Preferred Academic Advisor (志望する指導教員名)

---

9) Term you wish to study in Japan (日本における最終的な希望留学期間)

- ☐ Up to the completion of master’s degree program (修士課程修了まで)
- ☐ Up to the completion of doctoral program (博士課程修了まで)

10) Information of membership in honor societies and professional organizations, if any. (Attach additional sheets, if necessary.) (学会の会員であればその名称を記入すること)

11) Information of scholarship, prizes, honors, awards and other recognitions, if any. (Attach additional sheets, if necessary.) (奨学金や受賞歴があれば記入すること)



12) Future plan after completion of the program. (このプログラム終了後の計画を記入すること)

13) List of other graduate schools you are applying currently. (他に応募している大学院があれば記入すること)

14-1) Scholarships for Successful Candidates (渡日前奨学金制度)

As indicated in “14. Scholarships for Successful Candidates”, our university has scholarships for those who meet the conditions mentioned in the section. (「14 渡日前奨学金制度」に記載のとおり、本学には、本コースの合格者の内から該当する者を対象とした渡日前奨学金制度があります。)

If this course is selected by Japanese Government (Monbukagakusho), do you hope to be admitted as a Japanese Government Scholarship Student? (本コースが採択された場合、あなたは、日本政府（文部科学省）奨学金留学生を希望しますか)

☐ YES (はい) ☐ NO (いいえ)

14-2) Do you hope to be admitted as a SDG Professional Course Scholarship Student at Nagaoka University of Technology? (あなたは、長岡技術科学大学 SDG プロフェッショナルコース奨学金留学生を希望しますか)

☐ YES (はい) ☐ NO (いいえ)

14-3) Past Awarded Record (過去の国費奨学金受給歴)

Have you been awarded a Japanese Government (MEXT) Scholarship in the past? If “YES”, please specify the period, the name of the school and the type. (過去に国費外国人留学生に採用されたことがあるか。「はい」の場合はその期間、受入学校名、種類を記入すること。)

☐ YES (はい)

Period (期間) :

Name of School (学校名) :

Type (種類) :

---

☐ NO (いいえ)

14-4) If you are receiving or applying for other scholarships, please specify the name of the sponsor, scholarship period, scholarship amount, etc. (他の奨学金に応募又は他の奨学金を受給している場合は、その名前、期間、金額等を記すこと。)

## 15) Academic record: (学歴)

	Name and Location (学校名及び所在地)	Year and Month of Entrance and Completion (入学及び卒業年月)	Duration of Attendance (修学年数)	Diploma or Degree awarded, Major subject, Skipped Years/Levels (学位・資格・専攻科目・飛び級の 状況) When taking leave of absence, the period and reason (休学した場合はその期間・理由)
Primary Education (初等教育) Elementary School (小学校)	Name (学校名)  Location (所在地)	From (入学)  To (卒業)	years (年)  and months (月)	
Lower Secondary Education (前期中等教育) Middle School /Junior High School (中学校)	Name (学校名)  Location (所在地)	From (入学)  To (卒業)	years (年)  and months (月)	
Upper Secondary Education (後期中等教育) (Senior) High School (高校)	Name (学校名)  Location (所在地)	From (入学)  To (卒業)	years (年)  and months (月)	*-1
Preparatory Education for University (大学予備教育)	Name (学校名)  Location (所在地)	From (入学)  To (卒業)	years (年)  and months (月)	
Tertiary (Higher) Education (高等教育) Undergraduate (大学学部)	Name (学校名)  Location (所在地)	From (入学)  To (卒業)	years (年)  and months (月)	
Tertiary (Higher) Education (高等教育) Graduate (大学院)	Name (学校名)  Location (所在地)	From (入学)  To (卒業)	years (年)  and months (月)	
Total years of education mentioned above (以上を通算した全学校教育修学年数) As of September 1, 2025 (令和7(2025)年9月1日現在)			_____ Years and _____ months (年) (月)	

## Note:

1. Exclude kindergarten education and nursery school education. (幼稚園・保育所教育は含まれない。)
2. If the applicant has passed the university entrance qualification, indicate this in the column with “\*-1.”  
(「大学入学資格試験」に合格している場合には、その旨\*-1 欄に記入すること。)
3. Any school years or levels skipped should be indicated in the fourth column (Diploma or Degree Awarded, Major Subject, Skipped Years/Levels). (Example: Skipped senior year for the early graduation.) (「飛び級」をしている場合には、その旨を該当する教育課程の「学位・資格・専攻科目・飛び級の状況」欄に記入すること。(例) 高校3年次を飛び級により短期卒業)
4. If you attended multiple schools at the same level of education due to moving house or readmission to university, then write the schools in the same column and include the number of years of study and current status for each school. (住居の移転や大学の再入学等を理由に、同教育課程で複数の学校に在学していた場合は、同じ欄に複数の学校の在籍を記載し、すべての修学状況を修学年数に含めること。)
5. Calculate and write the total number of years studied based on the duration as a student. (including extended leaves such as summer vacation) (修了済みの課程年数合計は在籍期間を算出し、記入すること。(長期休暇も含める))
7. You may use a separate piece of paper if the above space is insufficient. In such a case, please stipulate that the information is on a separate page. (上記に書ききれない場合は、別紙に記入することも可能。しかしその場合は、別紙に記入する旨を明記すること。)

16) Field of specialization studied in the past (Be as detailed and specific as possible.) (過去に専攻した専門分野 (できるだけ具体的に詳細に書くこと。))

17) Have you ever written a thesis (including graduation thesis)? (過去に論文 (卒業論文を含む) を執筆したことがあるか)

☐ YES (ある)

☐ NO (ない)

18) State the titles or subjects of books or papers (including graduation thesis) authored by applicant, if any, with the name, address of publisher and the date of publication. (著書、論文 (卒業論文を含む。) があればその題名、出版社名、出版年月日、出版場所を記入すること。)

19-1) Do you currently have a job? (現職の有無)

☐ YES (はい)

☐ NO (いいえ)

19-2) If "YES", please fill in the employer's name. (「はい」の場合は勤務先名を記入すること。)

19-3) Employment record: Write the 2 most recent employment and exclude part-time work. (職歴：直近2つまで記入すること。アルバイトは除く。)

Name and location of organization (勤務先及び所在地)	Period of employment (勤務期間)	Position (役職名)	Type of work (職務内容)
	From  To		
	From  To		

20-1) Japanese language ability: Evaluate your ability and fill in with an X where appropriate in the blank. (日本語能力を自己評価のうえ、該当欄に×印を記入すること。)

	Excellent (優)	Good (良)	Fair (可)	Poor (不可)
Reading (読む能力)				
Writing (書く能力)				
Speaking (話す能力)				
Listening (聴く能力)				

\* If you have taken the Japanese Language Proficiency Test, specify the level you acquired. [ ] Level

(日本語能力試験の級取得者は取得級を記入)

20-2) Foreign language ability: Evaluate your ability and fill in an X where appropriate in the blank. (外国語能力を自己評価のうえ、該当欄に×印を記入すること。)

	Excellent (優)	Good (良)	Fair (可)	Poor (不可)
English (英語)				
French (仏語)				
German (独語)				
Spanish (西語)				
Others ( ) (その他)				

\* Specify the test results for the following English proficiency examinations you have taken. (英語能力を示す指標の点数を記入) TOEFL [ ] points TOEIC [ ] points IELTS [ ] points

21) Accompanying Dependents (Provide the following information if you plan to bring any family members to Japan) (同伴家族欄 (渡日する同伴予定の家族がいる場合に記入すること。))

\* All expenses incurred by the presence of dependents must be borne by the grantee. He/She is advised to take into consideration the various difficulties and great expense that will be involved in finding living quarters for them. Therefore, those who want

to accompany their families are well advised to come alone first and let them come after suitable accommodation has been found.

(注) なお、同伴者に必要な経費はすべて留学生の負担であるが、家族用の宿舎を見つけることは相当困難であり賃貸料も非常に割高になるのであらかじめ承知しておくこと。このため、留学生はまず単身で来日し、適当な宿舎を見つけた後、家族を呼び寄せること。

Name (氏名)	Relationship (続柄)	Age (年齢)	Nationality (国籍)

22) Person to be notified in applicant's home country in case of emergency: (緊急の際の母国の連絡先)

i) Name (氏名) :

---

ii) Current Address, Phone/ Facsimile number and Email address. (現住所、電話番号/FAX 番号及び Email アドレス)

Current Address (現住所) :

---

Phone/ Facsimile number (電話番号/FAX 番号) :

---

Email address (Email アドレス) :

---

iii) Occupation (職業) :

---

iv) Relationship (続柄) :

---

23) Past visits or stays in Japan (日本への渡航及び滞在歴)

Period (期間)	Purpose (渡航目的)
From	
To	
From	
To	

\* List from your most recent visits. (直近の渡航歴から記入すること。)

I understand and accept all the matters stated in the Application for SDG Professional Course for 2025 and hereby apply for this program. I also understand that withholding pertinent information requested in this application form or giving false information will make me ineligible for admission or will make me liable to dismissal. Bearing this in mind, I certify that the above statements are correct and complete. (私は令和 7 (2025) 年度 SDG プロフェッショナルコース学生募集要項に記載されている事項をすべて了解して申請します。また、申請書の記述で、求められた情報に答えなかったり虚偽を述べたりした場合、入学資格を失うことや退学の対象となることを承知したうえで、これまでの記述は正しいものであることを誓約します。)

Date of application (申請年月日) :

---

Applicant's signature (申請者署名) :

---

Applicant's name (in Alphabet) (申請者氏名) :

---

(別紙様式6)

専攻分野及び研究計画  
Field of Study and Research Plan

Name in full,  
in your native language

(姓名 (自国語))

(Surname)

(Given name)

(Middle name)

Name in Roman capital  
letters

(姓名 (ローマ字))

(Surname)

(Given name)

(Middle name)

Nationality

(国 籍)

Proposed study program in Japan (Outline your field of study on this side and the specific of your study program on the reverse side of this sheet. This section is one of the most important references for selection. The statement must be typewritten or written in block letters. Additional sheets of paper may be attached if necessary. If plagiarism or fraud is discovered after selection, the selection will be cancelled retroactively.)

(日本での研究計画;この研究計画は、選考の重要な参考となるので、表面に専攻分野の概要を、裏面に研究計画の詳細を具体的に記入すること。記入はタイプ又は楷書によるものとし、必要な場合は別紙を追加してもよい。なお、採用後に不正、盗用等が判明した場合は遡って採用を取り消す。)

If you have Japanese language ability, write in Japanese. (相当の日本語能力を有する者は、日本語により記入すること。)

1 Present Field of study (現在の専攻分野)

2 Your research topic in Japan: Describe articulately the research you wish to carry out in Japan.

(渡日後の研究テーマ: 日本においてどういった研究がしたいかを明確に記入すること)

3 Study program in Japan: (Describe in detail and with specifics - particularly concerning the ultimate goal(s) of your research in Japan)

(研究計画: 詳細かつ具体的に記入し、特に研究の最終目標について具体的に記入すること。)



## 健康診断書

CERTIFICATE OF HEALTH (to be completed by the examining physician)

日本語又は英語により明瞭に記載すること。

Please fill out (PRINT/TYPE) in Japanese or English.

氏名

Name: \_\_\_\_\_, \_\_\_\_\_, \_\_\_\_\_  
Surname First name Middle name☐男 Male

生年月日

年齢

☐女 Female

Date of Birth:

Age

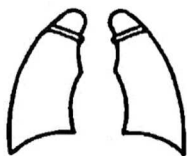
## 1. 身体検査 (Physical Examination)

(1) 身長 Height _____ cm		体重 Weight _____ kg	
(2) 血圧 Blood pressure	mm/Hg ~ mm/Hg	血液型 Blood Type	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> O <input type="checkbox"/> RH + <input type="checkbox"/> RH -
(3) 視力 Eyesight	(R) _____ (L) _____ 裸眼 without glasses	色覚異常の有無 color blindness	<input type="checkbox"/> 正常 normal <input type="checkbox"/> 異常 impaired
(4) 聴力 Hearing	<input type="checkbox"/> 正常 normal <input type="checkbox"/> 低下 impaired	言語 speech	<input type="checkbox"/> 正常 normal <input type="checkbox"/> 異常 impaired

## 2. 申請者の胸部について、聴診とX線検査の結果を記入してください。X線検査の日付も記入すること。

(6ヶ月以上前の検査は無効。)

Please describe the results of physical and X-ray examinations of applicant's chest x-ray (X-ray taken more than 6 months prior to the certification is NOT valid).


肺 ☐正常 normal  
lung: ☐異常 impaired

心臓 ☐正常 normal  
Cardiomegaly: ☐異常 impaired

↓  
異常がある場合 心電図 ☐正常 normal  
Electrocardiograph: ☐異常 impaired

Describe the condition of applicant's lung

## 3. 現在治療中の病気

Disease Treated at Present

☐ Yes (Disease: \_\_\_\_\_)  
☐ No

## 4. 既往症

Past history: Please indicate with + or - and fill in the date of recovery

Tuberculosis <input type="checkbox"/> ( . . )	Malaria <input type="checkbox"/> ( . . )	Other communicable disease <input type="checkbox"/> ( . . )
Epilepsy <input type="checkbox"/> ( . . )	Kidney Disease <input type="checkbox"/> ( . . )	Heart Disease <input type="checkbox"/> ( . . )
Diabetes <input type="checkbox"/> ( . . )	Drug Allergy <input type="checkbox"/> ( . . )	Psychosis <input type="checkbox"/> ( . . )
Functional Disorder in extremities <input type="checkbox"/> ( . . )		

## 5. 検査 Laboratory tests

検尿 Urinalysis : glucose ( ), protein ( ), occult blood ( ) 赤沈 ESR: \_\_\_\_\_mm/Hr ,  
WBC count: \_\_\_\_\_/cmm 貧血(anemia) ☐ Hemoglobin : \_\_\_\_\_mg/dl , GPT :

## 6. 診察医の印象を述べてください。

Please describe your impression.

## 7. 志願者の既往歴、診察・検査の結果から判断して、現在の健康の状況は十分に留学に耐えうるものと思われますか？

In view of the applicant's history and the above findings, is it your observation his/her health status is adequate to pursue studies in Japan ?

yes ☐ no ☐

日付 (Date): \_\_\_\_\_ 署名 (Signature): \_\_\_\_\_

医師氏名 (Physician's Name in Print): \_\_\_\_\_

検査施設名 (Office/Institution)

所在地 (Address): \_\_\_\_\_



**To those who will write a recommendation letter for an applicant**

This is an evaluation form from Nagaoka University of Technology.

Please fill out the blanks on this paper and put it in a sealed envelope with your signature and give the sealed letter to the applicant. He/She should forward it to our university unopened.

This form may be used as a recommendation letter.

## Nagaoka University of Technology

### RECOMMENDATION LETTER

**TO THE PRESIDENT OF NAGAOKA UNIVERSITY OF TECHNOLOGY**

Applicant's name: \_\_\_\_\_

(type or print)

family

first

middle

1. How long and under what circumstances I have known the applicant.

2. I rate the applicant in terms of the items listed below.

	poor lower 50%	fair top 50%	Good top 25%	very good top 15%	excellent top 5%	not known
academic performance						
intellectual potential						
analytical ability						
creativity						
motivation						
independence						
maturity						
cooperation with others						
English skill (written)						
English skill (oral)						

3. My opinion on the possibility of the applicant's success in the course.

4. My overall evaluation of the applicant.

☐ strongly recommended   ☐ recommended   ☐ recommended with reservation   ☐ not recommended

RECOMMENDER'S NAME

IN ROMAN BLOCK CAPITAL

NAME OF INSTITUTION:

TITLE / POSITION:

E-MAIL / PHONE:

SIGNATURE / DATE:



Date:

Day/Month/Year

## Application Form for SDG Professional Course Scholarship at Nagaoka University of Technology

To the President of Nagaoka University of Technology:

I hereby apply for SDG Professional Course Scholarship at Nagaoka University of Technology. Furthermore, I declare that I am not receiving or scheduled to receive the Japanese Government (Monbukagakusho) Scholarship or any scholarship from any organization including an organization of my home country government.

Applicant Information (Write your name exactly as it appears on your passport)

Name	
Program	<input type="checkbox"/> Master's Program <input type="checkbox"/> Doctoral Program
Major	
Signature	

Reason for the Application (It is required to be written by the Applicant.)

[illegible]



## Check Sheet for Application Documents

2025 SDG Professional Course

Master's Program at Graduate School of Engineering, Nagaoka University of Technology

Prior to the submission of application form and required documents, be sure to check if the following documents are enclosed. **Please enclose this check sheet with the application documents.**

**NOTE: All of these documents should be filled out in English or Japanese, using a computer or a black ballpoint pen (block letters). If any certificates are written in another language, please attach a translation in English.**

**NOTE 2: Method of payment including URL of e-apply will be informed to each applicant upon confirmation of application documents received by the deadline indicated in Section 5 (3). The applicant is asked to make a payment of screening fee by a credit card through “e-apply” which is a website for screening fee payments. The applicant is also required to submit the payment receipt downloaded from e-apply website. If the applicant fails to make a payment by the designated deadline, the application will not be accepted or proceed. For further information, please refer to section 5 (4).**

- ☐ **Form A** (Application Form for Admission) [Double-sided Printing]
- ☐ **Form B** (Field of Study and Research Plan) [Double-sided Printing]
- ☐ **Form C** (Certificate of Health)
- ☐ **Form D** (Recommendation Letter) [Must be obtained from the head of the department or above.]
- ☐ **Copy of Passport OR Copy of Certificate of Citizenship of the Applicant's Country of Residence**
- ☐ **Certificate of Graduation, or document that confirms the expected date of graduation**
- ☐ **Certificate of Bachelor's Degree, or document that confirms the expected date of receiving the degree**
- ☐ **Academic Record (transcript) of Undergraduate Program**
- ☐ **Brief summary of Bachelor's thesis (optional)**
- ☐ **Report on research and professional achievement (optional)**
- ☐ **English proficiency requirement**
- ☐ **Application Form for SDG Professional Course Scholarship at Nagaoka University of Technology (if applicable)**

Note (if any):









国立大学法人

長岡技術科学大学

Nagaoka University of Technology

〒940-2188 長岡市上富岡町 1603-1  
長岡技術科学大学大学戦略課  
国際・高専連携戦略室  
FAX 0258-47-9283

Office of International and KOSEN Cooperation Strategies,  
Division of Institutional Strategies,  
Nagaoka University of Technology,  
1603-1 Kamitomioka, Nagaoka,  
Niigata 940-2188 JAPAN  
FAX +81-258-47-9283  
E-mail [koryu@jcom.nagaokaut.ac.jp](mailto:koryu@jcom.nagaokaut.ac.jp)  
URL [https://www.nagaokaut.ac.jp/e/nyuushi/examination/sdgp\\_course.html](https://www.nagaokaut.ac.jp/e/nyuushi/examination/sdgp_course.html)